

目黒区議会議員選挙 選挙公報

目黒区選挙管理委員会

無駄遣いを許さない！ すべての世代の笑顔の為に

税金を大切に
目黒区の財政を金融の専門家として分析評価し、提言します。

コミュニティ作り
現代版寺小屋を設置し、誰でも参加できるコミュニティを作ります。

病気になる身体づくり
未来ある大切な子供達の食の為に、学校給食の地産地消の拡大やオーガニック、和食を推進します。

人と動物が共生する社会
保護犬猫の譲渡推進、災害時の避難所において飼い主と一緒に過ごせるペット同行専用スペースを設置します。

<プロフィール> 1971年埼玉県浦和市生まれ、51歳。1992年現・三井住友銀行へ入行。銀行事務全般、運用相談、研修講師。営業推進企画に従事31年勤務。証券外務員2種、心理カウンセラー。愛犬家。



目黒のめぐるちゃん / 岩本めぐみブログ



岩本めぐみ

参政党公認

サッと動いて目黒をゆたかに！

3期12年で5000件以上の区民相談！
350件以上の豊富な実績！



PROFILE
1963年生まれ。秋田県出身。秋田県立湯沢商業高校卒業。会社勤務を経て、2011年初当選以来3期。区議会副議長、監査委員等を歴任。目黒1丁目在住。妻と2人暮らし。



佐藤ゆたか

公明党公認

佐藤ゆたかの挑戦

- 1 あなたの生活を守ります**
 - 「レスパイトケア(介護する側のケア)」の支援など、在宅介護の充実を継続して推進します。
 - 区内公園 全トイレの総点検を推進し、子どもも女性も、皆が安心の公園に。
 - 带状疱疹ワクチン接種助成が4月からスタート。インフルエンザワクチンについても助成を進めます。
- 2 青年と共に目黒をつくる**
 - 新生活の準備が必要な新入生・新社会人への「生活応援券の配布」や「家賃助成」など、若者が住み続けられる街を目指します。
 - 安心して競技を楽しめる「区内スケボー施設」の設置に向け、奔走中。
 - 区内大衆浴場が減少。大事な社会インフラの維持へ「青年世代へ入浴券の配布」を進めます。
- 3 住みたい街から 住み続けられる街へ**
 - 国や都と連携し「給食費無償化」を目指します。
 - 「一時保育制度」を利用しやすくし、定員数を拡充。ゆとりある子育て環境を作ります。
 - 「ファミリー世帯の家賃補助制度」(上限月額2万円)利用期間を3年から6年へ、更に12年までの延長を目指します。

佐藤ゆたかの実績

- 1 带状疱疹ワクチン接種助成制度を新設**
 - 佐藤ゆたかが議会で訴え、この4月より50歳以上を対象に、発症や重症化を抑えるワクチン接種の費用を助成します。
- 2 地域の災害・安全対策を推進**
 - どこにいても避難所がわかるよう、区内全4424か所の「街頭消火器ボックス」に地域避難所の表示を実現。
 - 三田公園、大塚山公園などの公園トイレが怖い、汚いとの複数の声に、すぐに動き改善。公園の安全対策を進め、皆が安心して遊べるように。
- 3 保育サービスの拡充を推進**
 - ひとり親の方から相談を受け、「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」の対象を小学6年生まで拡充！利用時間も月40時間に延長し、うち20時間までの無償化を実現。



実績はこちら

動画配信中

持続可能な目黒区へ 議員定数削減

目黒区では、ふるさと納税による減収額が年々増え続けています。令和3年度は約27億円、令和4年度は約34億円の減収が見込まれており、このままでは行政サービスの縮小・削減は避けられません。

少子高齢化社会を迎え、人口減少・税収減少が見込まれる社会情勢を考えれば、それに合わせて政治家の人数も減らしていくのは当然です。人口1万人で1人の議員が適切な数字とよく言われますが、目黒区は議会コストの重さが顕著です。

	人口	定数	議員1人当たり
目黒区	28万	36人	7,897人
品川区	41万	40人	10,466人
大田区	74万	50人	14,806人
世田谷区	93万	50人	18,752人

- 共同親権・共同養育
- 議会改革
- 議会報告会の開催
- チーム学校の推進
- 子ども家庭支援
- 児童虐待対策
- 地域避難所支援
- 医療・介護支援
- 地域猫活動支援

1983年(昭和58年)8月23日 目黒区生まれ 妻と息子(5歳)の3人家族
碑文谷教会附属幼稚園/目黒区立鷹番小学校/目黒区立第六中学校
都立青山高等学校/明治大学政治経済学部/衆議院議員 三谷英弘 秘書
議員定数削減 直接請求 署名活動/2015年 目黒区議会議員選挙 当選
キリンビール株式会社 勤務/中央町一丁目町会・青年部/めぐろくらぶ代表



竹村ゆい

無所属 39歳

暮らし応援 必要なところへ今すぐに

- コロナ禍・物価高騰の影響を受けている区民・事業者へ、目黒区独自の物価高騰対策を強化！
- 障がいのある方の就労支援推進。福祉の店をもっと身近に便利に。キャッシュレス決済対応で販売促進、工賃UP！
- 区内特養老人ホーム新設を推進し、目黒で300名の定員増を実現しました。待機の不安を減らし、施設の整備を推進！

子どもまんなか 小さなSOSを見逃さない

- 目黒は待機児童ゼロを達成！子育て・子育て支援は質の時代へ。一時保育・病後児保育のオンライン予約でもっと便利に。区独自の保育士支援で不適切保育ゼロへ！
- ICT活用・区独自の教材・地域性を活かした英語教育・国際理解教育の推進。地元目黒と日本を知り、グローバルな視野を持って未来を生き抜く力を養う学校教育を！

防災・賑わいまちづくり 街の防災力と魅力をUP!

- 防災機能を持つ公園・広場の整備促進。建替助成を拡充して、木密地域を燃え広がらない街へ。
- 目黒区初！無電柱化のソフト地中化方式採用を実現。区道の無電柱化で防災対策を加速！地上機器をラッピングして、落書き防止と街の魅力をUP！訪れたい街づくり。

小林かなこ プロフィール

1977年生まれ ▶筑波大学卒業 ▶日本空手協会3段 指導員 ▶現在2期目
▶大学卒業後、米国の公立高校で日本語を教える。帰国後は米国教育団体に勤務し、日米間の異文化交流事業を担当。原町1丁目町会、目黒消防団第8分団 他



小林かなこ

自由民主党公認

文化の薫る目黒区に！

AIやチャットGPTが、人にかわり仕事をしつつあります
人に求められるのは「創造力」であり、
創造力を養うのが「文化」だと思っています！

目黒区の「めぐろ芸術文化振興プラン」は
『芸術文化の振興は、人と人との縁を結び(文化縁)、
《まちづくり》や《目黒の魅力発信》にもつながる』としています！

創造力の発揮と文化力により
子育て、教育、高齢者・障害者福祉、環境、産業振興、防災など
目黒区の多様かつ今日的な課題に取り組んで参ります！

推薦者 **石田純一** (俳優)
私は大岡山で生まれ、目黒区立不動小学校、区立四中(現大島中)を卒業しました。「文化は人々の生活、人々の夢」だと考えています。岩瀬美智子さんは碑文谷生まれで高校の後輩です。後輩の挑戦に大いに期待ください！

大学教員、行政ウーマン、NPO役員などの経験を最大限活かし、問題解決に臨みます！
【現在】NBCR(特殊災害)対策推進機構顧問 国際医療福祉人材開発機構顧問 江戸城天守再建の会理事 など
【学び】サレジオ幼稚園 昭和女子大学付属昭和小学校・中学校 都立青山高校卒・青山学院大学卒 ジョージタウン大学・大学院卒(米国)
【働き】東京大学法学部助教授 東京都立大学OU講座講師 宮城県環境生活部次長(文化振興・国際協力・NPO支援を担当)など歴任
【メディア】ブロードキャスター(TBS) 視点・論点(NHK) など出演
いわぶち HP ☆人の話しを「傾聴」するのが得意です



いわぶち 美智子

無所属

青木英太の公約と実現

1 未来の子どもたちへのアクション

具体的には… 定期予防接種の再接種費用の助成を実現！
背景 子どもの定期予防接種は公費負担だが、再接種費用の助成制度の創設を一般質問で訴える
実現 令和4年4月以降より最大で約30万円の自己負担になることも

2 ビッグデータを活用した効果的な事業を

具体的には… 通学路の安全確保にビッグデータの活用を提案！
背景 目黒区は23区の中でも道路が狭く、通学路における安全確保の相談を私が多く受けていた
実現 既存の通学路点検とビッグデータの活用による危険箇所の洗い出し

3 多世代がつどう町会自治会の持続的な発展へ

背景 ホームページ作成助成に留まらないSNS活用等のIT支援
実現 コロナ禍で町会が継続的に活動するためのガイドラインの作成

プロフィール 目黒生まれ 目黒育ち 目黒区在住32年

1990年6月15日 目黒生まれ AB型 ●1997年/円融寺幼稚園 卒園 ●2003年/東京学芸大学附属世田谷小学校 卒業 ●2006年/東京学芸大学附属世田谷中学校 卒業 ●2009年/國學院久我山高等学校 卒業 ●2014年/立教大学経営学部経営学科 卒業/民間企業を経て衆議院議員秘書を務める ●2019年/目黒区議会議員3位当選(趣味)テニス、よさこい、詩吟、柔道(修行中) 【好きな言葉】一期一会



青木英太

無所属

「未来につなぐ、誇れる目黒へ。」
目黒区議会議員として4年間「現場第一主義」をモットーに地域を走り回りました。次世代を担う子どもたちが将来自分の育った地域に誇りを持てるよう目黒区は更なる発展を遂げなければなりません。

